

## 平成21年の「水難事故」の状況

— 全国の発生件数は1,540件（前年比105件増） —

夏の訪れとともに、気温も上昇し、海や川などの水辺で楽しむ時間が多くなります。これに伴い水難事故も多く発生します。天候や体調が不良な時、および禁止・危険地域での釣りや遊泳などは避け、自分や身の回りの人が水難事故に遭わないように一層の注意をすることが必要です。

この「水難事故」について、警察庁が発表した「平成21年中における水難の概況」によると平成21年の全国の水難事故発生件数は1,540件（前年比+105件）、水死者は852人（同+23人）となりました。

### 1. 平成21年の水難事故発生件数と水難者の状況

平成21年の発生件数は1,540件（前年比+105件）、うち中学生以下の子供（以下子供と表記）は236件（同+22件）でした。

水難者（水死者、負傷者、無事救出）は1,905人（同+262人）、うち子供は396人（同+123人）、そのなかで水死者（死者・行方不明者）は852人（同+23人）、うち子供は62人（同+8人）でした。

		平成 21 年		平成 20 年		増 減		
		総 数	うち子供	総 数	うち子供	総 数	うち子供	
発 生 件 数 (件)		1,540	236	1,435	214	+105	+22	
水 難 者 (人)	水 死 者	死 者	832	61	814	54	+18	+7
		行方不明者	20	1	15	0	+5	+1
		小 計	852	62	829	54	+23	+8
	負 傷 者	243	45	263	54	-20	-9	
	無 事 救 出	810	289	551	165	+259	+124	
合 計		1,905	396	1,643	273	+262	+123	

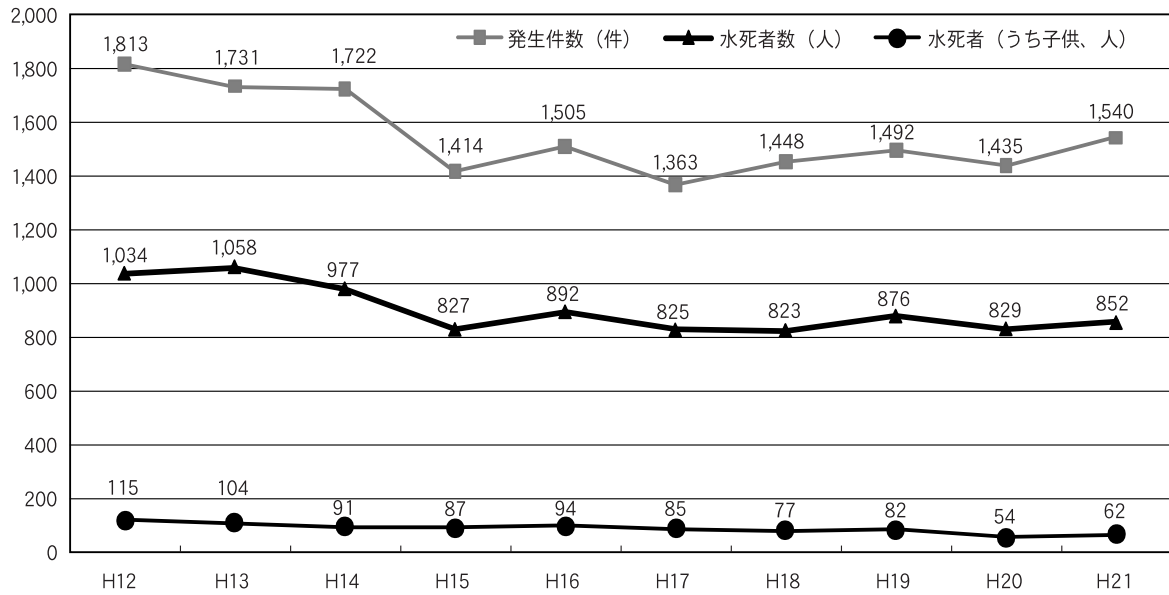
(注) 子供とは、中学生以下の子供を内数で示す。

(資料：警察庁「平成21年中における水難の概況」)

### 2. 水難事故の年次推移

最近10年間で発生件数の最も多かった年は平成12年の1,813件でした。平成17年には1,300件台にまで減少しましたがその後は増加傾向になり、平成21年は1,540件（前年比+105件）と、5年ぶりに1,500件台まで上昇しました。

同期間で、水死者の最も多かった年は平成13年の1,058人でした。平成15年には800人台まで低下しましたがその後は減少せず、平成21年は852人（同+23人）と、7年連続で800人台の推移になっています。



	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
発生件数 (件)	1,813	1,731	1,722	1,414	1,505	1,363	1,448	1,492	1,435	1,540
水死者数 (人)	1,034	1,058	977	827	892	825	823	876	829	852
水死者 (うち子供、人)	115	104	91	87	94	85	77	82	54	62

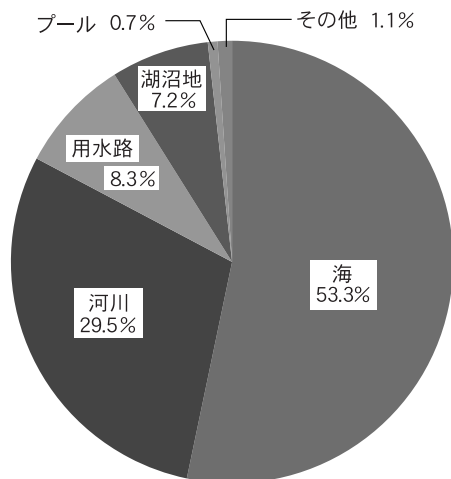
(注) 子供とは、中学生以下の子供を内数で示す。

(資料：警察庁「平成21年中における水難の概況」)

### 3. 水死事故の発生場所

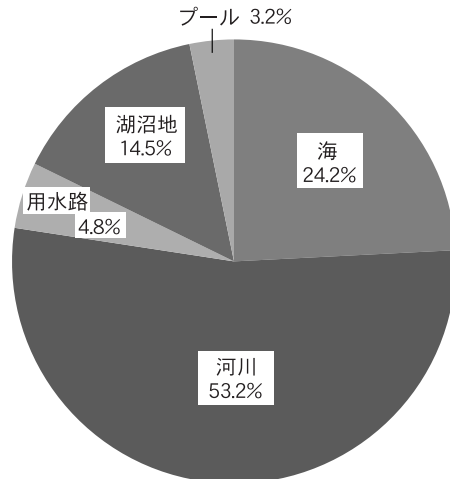
平成21年の水死事故の最も多い発生場所は、海が454人（全体割合：53.3%）と5割を超えています。次いで河川が251人（同29.5%）、用水路が71人（同8.3%）で、この3カ所で全体の9割を占めています。子供では、河川が33人（同53.2%）と5割を超え、最も多い発生場所になっています。次いで海が15人（同24.2%）、湖沼地が9人（同14.5%）で、この3カ所で9割を占めています。

[平成21年 水難場所別の水死者割合 (全体)]



(資料：警察庁「平成21年中における水難の概況」)

[平成21年 水難場所別の水死者割合 (子供)]



(資料：警察庁「平成21年中における水難の概況」)

平成21年の水死者数（場所別）

（単位：人）

	水 死 者	前 年 比 増 減	う ち 子 供	前 年 比 増 減
海	454	+12	15	+5
河 川	251	+16	33	+6
用 水 路	71	-12	3	-3
湖 沼 地	61	+3	9	±0
プ ー ル	6	+1	2	±0
そ の 他	9	+3	0	±0
合 計	852	+23	62	+8

（資料：警察庁「平成21年中における水難の概況」）

#### 4. 夏期（6～8月）の水難事故発生状況

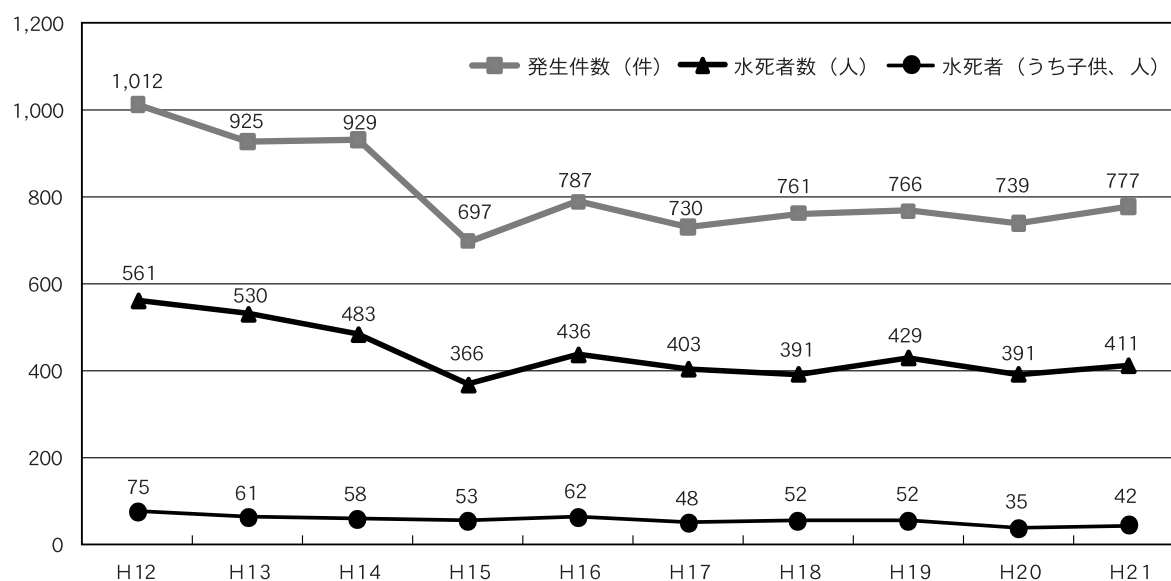
平成21年夏期の水難事故発生状況は、発生件数が777件（前年比+38件）、水死者（死者・行方不明者）が411人（同+20人）と、いずれも増加しました。夏期是水難事故の発生が多発する時期です。この期間の水難事故の発生割合は、発生件数が50.5%、水死者が48.2%と、年間の水難事故の約5割を占めています。子供の場合はさらに発生割合が高くなり、発生件数が69.1%、水死者が67.7%と約7割になるなど子供の水難事故はこの3ヵ月に集中しています。

「平成21年と平成20年夏期（6～8月）の水難事故発生状況」

		平 成 21 年		平 成 20 年		増 減		
		総 数	うち子供	総 数	うち子供	総 数	うち子供	
発 生 件 数 (件)		777	163	739	160	+38	+3	
水 難 者 (人)	水 死 者	死 者	405	42	387	35	+18	+7
		行方不明者	6	0	4	0	+2	±0
		小 計	411	42	391	35	+20	+7
	負 傷 者	145	33	144	42	+1	-9	
無 事 救 出		392	128	334	128	+58	±0	
合 計		948	203	869	205	+79	-2	

（注）子供とは、中学生以下の子供を内数で示す。

「最近10年間の夏期の水難事故発生推移」



（資料：警察庁「平成21年中における水難の概況」）

## 5. 福島県の水難事故発生状況

福島県の平成21年の発生件数は33件でした。水死者は18人（死者17人、行方不明者1人）でした。発生場所については、海と河川がともに12件となり、最も多い場所になっています。

平成21年都道府県別水難事故（発生件数・水難者数）

都道府県	発生件数	水難者数	死者	行方不明者	負傷者	無救	事出
千葉県	95	107	42	0	34	31	
新潟県	87	104	35	2	12	55	
静岡県	73	83	33	0	20	30	
北海道	67	87	43	0	6	38	
長崎県	62	64	30	1	0	33	
沖縄県	58	73	32	2	0	39	
鹿児島県	57	154	27	1	11	115	
兵庫県	50	64	32	0	5	27	
茨城県	44	56	25	0	19	12	
神奈川県	43	52	28	1	9	14	
岐阜県	43	58	21	1	3	33	
福岡県	41	42	25	0	6	11	
富山県	39	41	35	0	3	3	
埼玉県	38	47	10	0	7	30	
福井県	36	41	15	2	16	8	
三重県	36	38	27	0	1	10	
福島県	33	36	17	1	5	13	
和歌山県	32	35	17	1	7	10	
高知県	32	33	18	1	5	9	
佐賀県	32	32	21	0	2	9	
秋田県	30	30	22	1	2	5	
香川県	30	32	14	0	4	14	
愛知県	29	36	20	0	1	15	
青森県	27	29	12	0	3	14	
愛媛県	27	27	16	0	1	10	
熊本県	27	36	13	0	5	18	
山形県	26	32	15	2	1	14	
長野県	24	54	18	0	4	32	
鳥根県	24	25	13	1	4	7	
広島県	24	24	15	1	3	5	
大分県	24	24	17	1	2	4	
宮崎県	24	31	12	1	4	14	
京都府	22	28	12	0	0	16	
滋賀県	20	39	7	0	0	32	
岩手県	18	21	11	0	2	8	
警視庁(東京都)	18	19	8	0	9	2	
鳥取県	17	19	9	0	1	9	
山口県	17	18	11	0	1	6	
大阪府	16	18	4	0	6	8	
宮城県	15	23	8	0	9	6	
石川県	15	15	9	0	3	3	
岡山県	15	15	3	0	1	11	
徳島県	15	17	7	0	3	7	
栃木県	14	14	11	0	1	2	
奈良県	12	14	6	0	0	8	
群馬県	6	9	3	0	1	5	
山梨県	6	9	3	0	1	5	
合計	1,540	1,905	832	20	243	810	

平成21年都道府県水難事故（場所別発生件数）

都道府県	合計	海	河川	湖沼地	用水路	プール	その他
千葉県	95	76	15	1	2	1	0
新潟県	87	51	23	5	8	0	0
静岡県	73	59	12	2	0	0	0
北海道	67	45	15	5	0	2	0
長崎県	62	55	2	0	0	3	2
沖縄県	58	52	3	1	0	2	0
鹿児島県	57	49	7	1	0	0	0
兵庫県	50	37	7	3	1	2	0
茨城県	44	35	7	1	1	0	0
神奈川県	43	25	16	0	1	1	0
岐阜県	43	0	37	2	3	0	1
福岡県	41	23	8	4	5	0	1
富山県	39	11	12	1	14	0	1
埼玉県	38	0	32	0	3	1	2
福井県	36	26	9	1	0	0	0
三重県	36	25	9	2	0	0	0
福島県	33	12	12	3	3	1	2
和歌山県	32	22	9	0	1	0	0
高知県	32	25	7	0	0	0	0
佐賀県	32	6	10	2	14	0	0
秋田県	30	7	8	4	7	1	3
香川県	30	21	4	5	0	0	0
愛知県	29	15	10	3	1	0	0
青森県	27	22	2	3	0	0	0
愛媛県	27	17	6	4	0	0	0
熊本県	27	15	6	1	2	3	0
山形県	26	12	9	0	4	0	1
長野県	24	0	17	2	5	0	0
鳥根県	24	13	7	3	0	1	0
広島県	24	12	11	1	0	0	0
大分県	24	9	10	0	4	0	1
宮崎県	24	16	8	0	0	0	0
京都府	22	13	8	0	1	0	0
滋賀県	20	0	5	14	0	1	0
岩手県	18	14	2	2	0	0	0
警視庁(東京都)	18	9	9	0	0	0	0
鳥取県	17	13	3	1	0	0	0
山口県	17	15	1	0	1	0	0
大阪府	16	9	7	0	0	0	0
宮城県	15	10	4	1	0	0	0
石川県	15	13	2	0	0	0	0
岡山県	15	4	5	1	4	1	0
徳島県	15	7	6	1	0	1	0
栃木県	14	0	8	1	4	1	0
奈良県	12	0	10	1	0	1	0
群馬県	6	0	4	0	2	0	0
山梨県	6	0	1	5	0	0	0
合計	1,540	900	425	87	91	23	14

（資料：警察庁「平成21年中における水難の概況」）

（出典：警察庁「平成21年中における水難の概況」）

（担当：白石）